

令和5年度 第3回芳賀町学校運営協議会会議録			
日時	令和5年7月26日（水）18:00～20:00		
場所	町民会館 多目的室		
出席者	[学校運営協議会委員] 稲川浩司、岡田由美子、大峯俊幸、森島規仁、今井由佳、岩村智織、中山このみ、水田晴美、岩崎 進、小林史貴、今西雅子、齋藤裕美、梅木タカユキ、小林春華（協議会委員出席14名）		
	[芳賀中学校]（校長）山本 守（教頭）柳 利道（地域連携教員）鶴見優希 [芳賀東小学校]（校長）大根田裕一（教頭）半田高代（地域連携教員）高久 誠 [芳賀北小学校]（校長）高津健司（教頭）國井明美（地域連携教員）富士井慶 [芳賀南小学校]（校長）生井克成（教頭）関本恵美子（地域連携教員）那花和哲		
	（教育長）古壕秀一 [教育委員会事務局] （学校教育課長）小林芳浩（主幹兼学校教育係長兼管理主事兼指導主事）高橋輝秋 （課付係長兼指導主事）松本 薫（学校教育課指導主事）涌井俊裕 （生涯学習課長）仲尾 周（生涯学習係長）大岡久美子（生涯学習課主査）小林春彦 （社会教育指導員）柳岡敦子		
司会	小林春彦（議事進行）稲川浩司会長	書記	大岡久美子
概要	1 開会 2 あいさつ 3 協議事項（進行：稲川会長） (1) 分科会及び地域連携活動報告（各学校から） (2) 熟議「地域とともにある学校とは」（ブレインストーミング） (3) 各班からの発表（発表者：地域連携教員） (4) その他 4 事務連絡 5 閉会		
1 開会	2 あいさつ（稲川会長） 本日は熟議ということで準備をさせていただいた。非常に大きいテーマとは思いますが、今後5年後、10年後の芳賀町の未来の子どもたち、あるいは地域づくりに向けた、実りある議論をできればと思っていますので、最後までよろしくお願いします。		
3 協議事項（進行：稲川会長）	(1) 分科会及び地域連携活動報告（各学校から） 【芳賀中学校】 柳教頭：分科会では英語の授業参観を行った。英語の授業は対話型の授業だったため、委員の方か		

らは「今まで自分たちが受けてきた授業とは形式が変わっている」「こんな楽しい授業なら私たちももっと英語ができたのではないか」などたくさん意見をいただいた。一方、学力向上については今後改善していきたいと考えている。会議の中では、制服リユースとしてはどうかという意見が出た。協議会委員が中心になって取り組みたいという話をいただき、今後検討していくこととしている。また、芳賀中ではプロジェクトH2という花火と花見をかけたものを今後も推進していくとお伝えした。昨年度はあまり地域との連携ができていなかったが、今年度は地域の方にもご協力いただいて実施したい。現在、不登校と保健室登校の生徒が増えている状況とお伝えしたところ、委員の方から協力できることがあれば協力しますよ、と言っていただいた。地域連携活動については、プロジェクトHはこれまで生徒会が中心になって行ってきたが、今年度は有志が集まって生徒会とは別にプロジェクトH委員会を設立した。学校行事では、引き続きマイチャレンジなどを行っている。

【芳賀東小学校】

半田教頭：分科会は、参加して下さった委員の方が地域に根差した活動をしている方ばかりだった。

「幼いころから地域のお祭りに参加したことが心に残っている」「PTA会長を経験したことがこの協議会委員としての活動の基礎となっている」「ボランティア活動をしている中で子どもたちがコミュニケーションを重ねるごとに成長を感じることができ、継続することが大事だと思った」など、それぞれの立場でお話をいただいた。学校支援ボランティアの皆さんには大変活発に活動していただいております、学校としてはとても感謝している。リーダーの方が呼びかけると皆さんが一生懸命参加してくれるため、協力してくれる方の負担増が心配だという声もあった。無理しすぎず可能な範囲で参加してもらい、支援者も学校も平等・公平にと考えすぎないことが大事なのではないかという貴重な意見もいただいた。今は東小を中心にボランティア活動を行っていただいているが、学校の垣根を超えて支援を広げていくようなシステムを作っていくというのも、今後の課題になっていくと感じている。

高久教諭：4月に入ってすぐ書写があり、3年生は初めて筆を持って字を書くということで準備や片付けが大変なので、ボランティアの皆さんにお願いし、1学期各クラス7～8回お世話になった。その他、ミシンや調理など5、6年生の授業でお世話になっている。3、4年の社会科では地域の方に来ていただいてお囃子体験をし、下野新聞にも載せていただいた。郷土芸能クラブの活動では、今年は上延生自治会の夏祭りに自治会長さんから呼んでもらい、いよいよ学校から地域に出る活動ができるようになってきた。お囃子の発表をさせてもらい、子どもたちには焼きそばやかき氷などを振舞っていただき、とても楽しんでいた。学校から地域に還元するということができていると感じている。8月には太々神楽を子どもたちだけで披露、延生地蔵尊の盆踊りにも参加予定となっている。地域の皆さんのおかげで学校内外で交流することができ、楽しくやれている。

【芳賀北小学校】

富士井教諭：分科会では、地産地消イベントが主な話題となった。保護者と一緒にごはんを食べるイベントだが、コロナ禍以前と同じようにやるのは難しいという話が出ている。PTAや学校運営協議会委員の方々と連携を取って行いたいという方針を話し合った。来年度からは、北小でもクラブ活動の一環としてお囃子クラブを考えている。今年度から地域の方々

の協力をいただきながら準備を進めたい。数名だがお囃子に興味を持っている児童や、地域で和太鼓を叩いたことがある児童もいる。ただ、地域のお祭りに参加する児童が少ないという現状も確認したので、今後何らかの対策を取ればということをお話し合った。地域連携活動については、主な活動として、4月の3年生の学校の周り探検や、5年生の総合的な学習の時間での田植えなどを、地域の方のご協力をいただきながら実施している。また、ボランティアコーディネーターの岩村さんを中心に、お掃除ボランティアに入っただき大変ありがたい。今年度からは給食ボランティアということで、1年生だけでは給食の配膳がうまくできないので、1学期の間ボランティアに入っただき大変感謝している。

【芳賀南小学校】

関本教頭：分科会では、学校見学ツアーについて、ボランティアのみなみの会にじの広田さんから説明をしていただいた。また、子どもたちが掃除の仕方を知らないという話が出た。経験が足りなかったり、学校との連絡がうまく取れていなかったりして指導の仕方が難しいとの意見があった。子どもたちとの関わりを通して、別の場所で会った時に「読み聞かせありがとう」「お掃除ありがとう」などと会話できるのがありがたいというお話をお聞きして、学校としてもありがたいし、子どもたちにも伝えたいことがあるんだと思った。今後の活動としては、PTA会長から、地域の消防団を中心とした男性のボランティア団体の立ち上げを検討しているという話があった。また、南小近辺の地域にもプレーパークのような場や、どんど焼きに気軽に参加できるような機会があったらいいな、とか、南小の校章の謎が話題になり、どういったいきさつでこの形になったのか探してみたい、南小の児童数が減っているので今後どうしていくか、などの話が出た。

那花教諭：地域連携活動については、主に1、2年生の農園や種まきの活動をボランティアの方々にお手伝いいただき、調理実習など家庭科はマスターズボランティアさんに協力いただいている。その他伝統文化の継承ということで、昼休みの時間等を利用しみなみの会にじの方に昔遊び体験のイベントを企画してもらい、子どもたちが楽しんでいる。環境整備では、西高橋のシニアクラブの方に学校周りの生け垣の剪定をしていただき、地域との交流では、学校の敷居を低くするための学校見学ツアーをやっていただいた。今年度は太々神楽保存会の方と連携して、まずは太々神楽の鑑賞会を開いていく予定。

<委員からの意見等>

岩村委員：芳賀南小の資料に、活動の窓口を載せているのが分かりやすくよいと思う。

稲川会長：連絡先が分かると、連携を進めやすいのではないか。

(2) 熟議「地域とともにある学校とは」(ブレインストーミング)

稲川会長：本日は「地域とともにある学校とは」をテーマにする。非常に大きなテーマとは思いますが、ブレインストーミングという形式で行う。自分が思いついたことを、ふせんにどんどん書いてほしい。普遍的なことでもいいし、決して新しいものだけを目指していこうということではないので、今やっている活動を他の学校でもできるといいよね、とか、今やっている活動をこう工夫したらもっといいものになるね、など、たくさん切り口はあると思う。

(事務局からブレインストーミングの流れを説明後、各班で話し合い)

(3) 各班からの発表（発表者：地域連携教員）

【C班】

高久教諭：たくさんの意見が出たが、多くの人が集まってつながりを増やす場所というのが、最終的な共通した意見だった。目標を達成するための手段として、学校内外、地域、広報活動など問題点も同時に出てきているが、学校、地域、行政それぞれの役割がある中で、お互いの情報共有やPR活動が足りないから、我々がこの場で考えていかなければならないのではないかと、という話になった。共有し、意見をたくさん出し合った時に、地域が盛り上がることになるのではないかと。時間が足りず最終的な着地点にはなかなかたどり着かないが、こうやって意見を出し合い、人とつながって、どんどん仲間を増やしていき、幸せな地域をつくっていき、ということになった。

【A班】

那花教諭：最終的な目標として、協働することによって子どもたちをどんな風に育てていくのか、それを地域と学校とで力を合わせていく、という話になった。そのためにはどうしたらいいかということで、地域の子どもたちに知らせていく活動、地域に子どもたちが出ていく活動、さらに高齢者とかかわりなどで、これからの高齢化社会を生きていく中で子どもたちに学ばせていくことも必要ではないか。学校に来ていただくということで、地域の方に学校を集う場にしてもらい、地域の方が自由に子どもたちと触れ合えるような自由な場にするのはどうか、運動会などのイベントに地域の方が来て子どもたちがそれを迎え入れる、子どもたちの安全安心という観点では登下校の見守りを地域の方と協力してやっていくのはどうか、という話が出た。その他、大人が夢を語る、大人が子どもたちの学びを支える、特に学校では学べないお金のことや仕事のことを地域の大人が教える。情報発信やネットワークづくりでは、芳賀中のプロジェクトHがとても良い取り組みなのでもっと町内外の方に知らせる、それらを持続可能な形にする工夫ということで、理想は地域の人から自ら進んでやってくれることでそれぞれがウィンウィンの関係になることかな、という話になった。

【D班】

富士井教諭：「生きる力」をキーワードに、あいさつ、それに伴うコミュニケーションが大切だと考えた。地域の方々と自然にあいさつが交わされるのが理想的、という意見が出た。2番目に「郷土愛の醸成」ということで、子どもたちが地域のイベントへ参加することによって、郷土への親しみを持つことができると考えた。すでにやっているお囃子やお祭り、グルメネーションなどに子どもたちが参加し盛り上げていく。地域の方がやっている趣味の活動を、学校のクラブ活動で教えてもらい広げていくことで体験活動を増やしていく、今やっているイベントや体験活動をつなげていくことで、ふるさととのつながりによる成長が生まれてくると考えた。活動を通して子どもたちが成長していき、子どもたちの成長を地域みんなで喜び合えることにつながっていく。課題としては、災害対策や防犯に効果的なのは、地域と学校と行政のスムーズな情報伝達が重要になってくるので、いかに連携を取っていけるかが課題と考えた。地域の課題と学校の課題を共有できる場があれば、今後一緒に解決方法を考えていけるのではないかと。今後を見据えて、部活動や校内環境の整備をどうしていくのか、という意見が出た。

【B班】

鶴見教諭：学校と地域をつなぐために、学校としては、学校行事やイベントに参加・協力していただく、地域貢献ということで学校から地域に出ていく、学校開放、部活動の指導や授業への協力といった意見が出た。地域としては、地域行事に子どもたちが積極的に参加していく、そういった情報を知らせる、地域が活性化すると子どもが地域のことを好きになる、地域が好きだから行事に参加するようになるというつながりが出てくる。地域の方々が登下校の見守りをする、危機管理として地域にも情報共有があるとよい。芳賀町は給食の地産地消にも力を入れている。また、PTAの方々には積極的に協力をしていただいております、以前は学校から依頼されてやるということが多かったと思うが、今は自分から主体的にボランティア団体を作って資源物回収を行うなど、学校のために何かできないかと自主的に考えてくれている。地域と学校が仲良くなりたいたいということで、あいさつをする、気軽に学校に来られる・お茶が飲めるような環境、という話が出た。そのための進め方としては、まずは学校を中心として、ゆっくり慌てずにやっていく、諦めずに継続して続けていくというのが心得として大切なのではないかと。その中で、学校のニーズ、地域のニーズを共有していく場や、アンケートを使って共有していくのが必要なのではないかと、更には芳賀町としてどんな大人に育てていきたいのかを共有していくのも必要ではないかと、という話になった。

<委員からの意見等>

稲川会長：今年度は2回熟議を予定している。今日まとめたものを整理させていただいて、これからの協議会の中でもさまざまな意見をいただきながら、次回の熟議につなげていきたいと思っている。

(4) その他
(特になし)

4 事務連絡

- ・本日協議会委員さんの名札を配らせていただいた。学校で活動する際等に活用してください。3月の会議の際に回収します。
- ・延生地蔵尊の盆踊りが3年ぶりに開催となり、芳賀東小の郷土芸能クラブの子どもたちも参加する予定。今年は高久先生が引率してくださるが、来年以降は地域とのつながりということで学校運営協議会が主導でやる方向で進めたい。特に東小学区の方には見に行っていたいただければと思うが、どうせ行くのであれば、協議会の皆さんで参加して踊りませんか。参加いただける方は8月4日（金）までに町民会館にご連絡ください。

5 閉会